

ユダの
手紙

恵みが放縦に 変わるとき



ユダの手紙

放縦主義者についての警告

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 警告された放縦者 1～15

II. 兄弟姉妹への奨励 16～25

III. まとめと適用

恵みが放縦に変わるとき



I. イントロダクション

シリアの海

ユダの手紙とは？

■著者 …ヤコブの兄弟**ユダ**(イエスの兄弟)

■宛先 …離散のユダヤ人信者中心の教会?!
トルコ？ シリア？
挨拶。ユダヤの偽典に言及。

■テーマ …放縦主義者への警告
(グノーシスとは違う)

■内容 …旧約、旧約偽典(ユダヤ文書)、
使徒の教えから、引用、適用。





Ⅰ. 警告された放縦者

ユダの手紙1～16節

死海

挨拶

キリストのしもべ ユダ1:1～2

イエス・キリストのしもべ*、ヤコブの兄弟
ユダから、父なる神にあって愛され、イエ
ス・キリストによって守られている、召され
た方々*へ。

あわれみと平安と愛*が、あなたがたにます
ます豊かに与えられますように。

*パウロ、ヤコブ、ペテロも自称

*福音を信じ、聖霊が内住された人々

➡父なる神、子なる神、隠れた聖霊なる神

*ここだけの表現…「恵み」がない!!



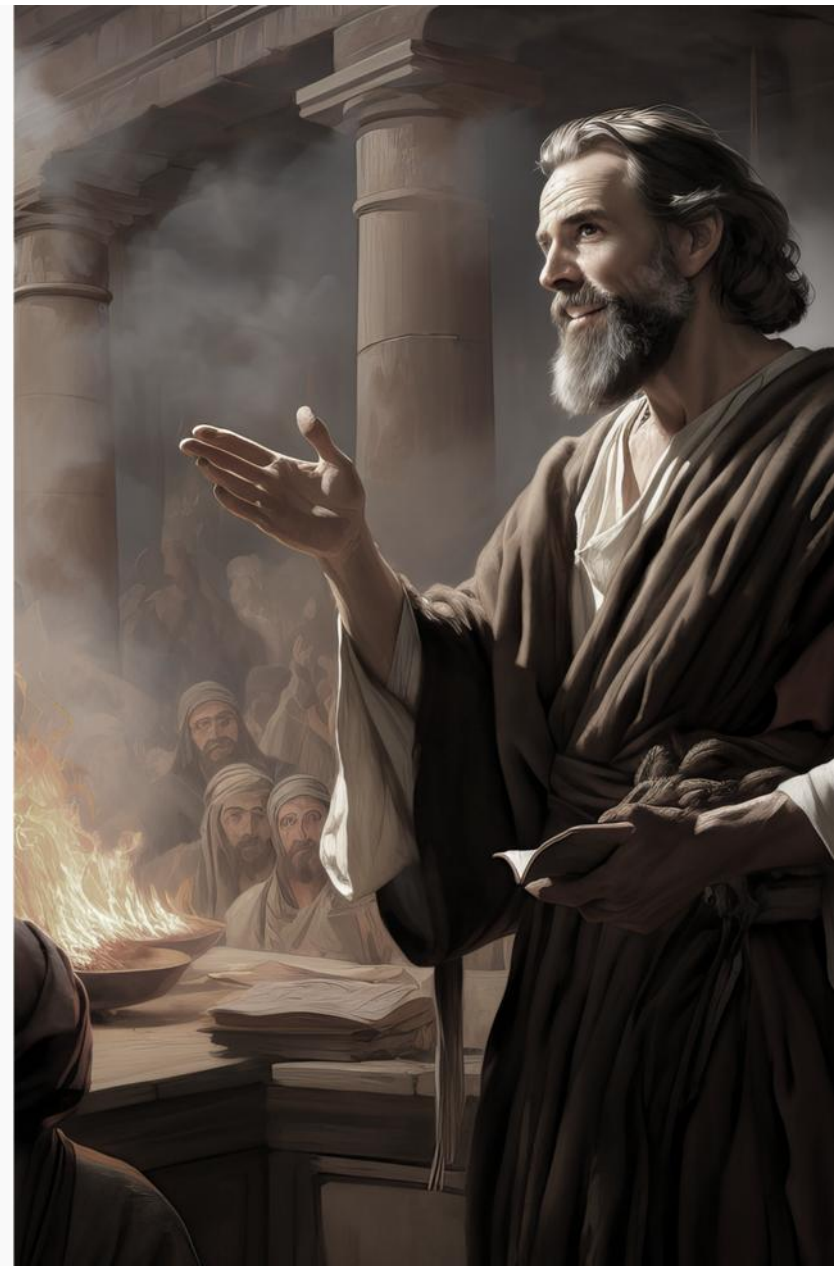
警告

信仰のために ユダ1:3

愛する者たち。私たちがともにあずかっている救いについて、私はあなたがたに手紙を書こうと心から願っていましたが、**聖徒たちにひとたび伝えられた信仰のために**戦うよう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました。

■ 救いは一つ。信仰は一つ。

- ➡ 救いと信仰において一致しているのが、クリスチャン。キリストの教会。
- ➡ この一致を保つのが、霊的戦いの中心



挨拶

放縦主義者 ユダ1:4

それは、ある者たちが忍び込んできたからです。彼らは不敬虔な者たちで、私たちの神の恵みを放縦*に変え、唯一の支配者であり私たちの主であるイエス・キリストを否定しているので、以下のようなさばきにあうと昔から記されています。

*アセルゲイア…好色、色情、みだらな楽しみ
ソドムの罪(IIペテ2:7)

■敵対者の特徴

➡不敬虔、恵みを放縦にすり替える、
キリストの神性、裁き主の権威を否定。



裁き

解放者イエス ユダ1:5

あなたがたはすべてのことをよく知っていますが、思い起こしてほしいのです。イエス*は民をエジプトの地から救い出しましたが、その後、信じなかった者たちを滅ぼされました。

「民20:16 私たちが【主】に叫ぶと、主は私たちの声を聞いて、一人の御使い*を遣わし、私たちをエジプトから導き出されました。」

■ 受肉前のメシアが、イスラエルを解放。
荒野の40年で、その世代を裁かれた。



裁き

悪霊への裁き ユダ1:6

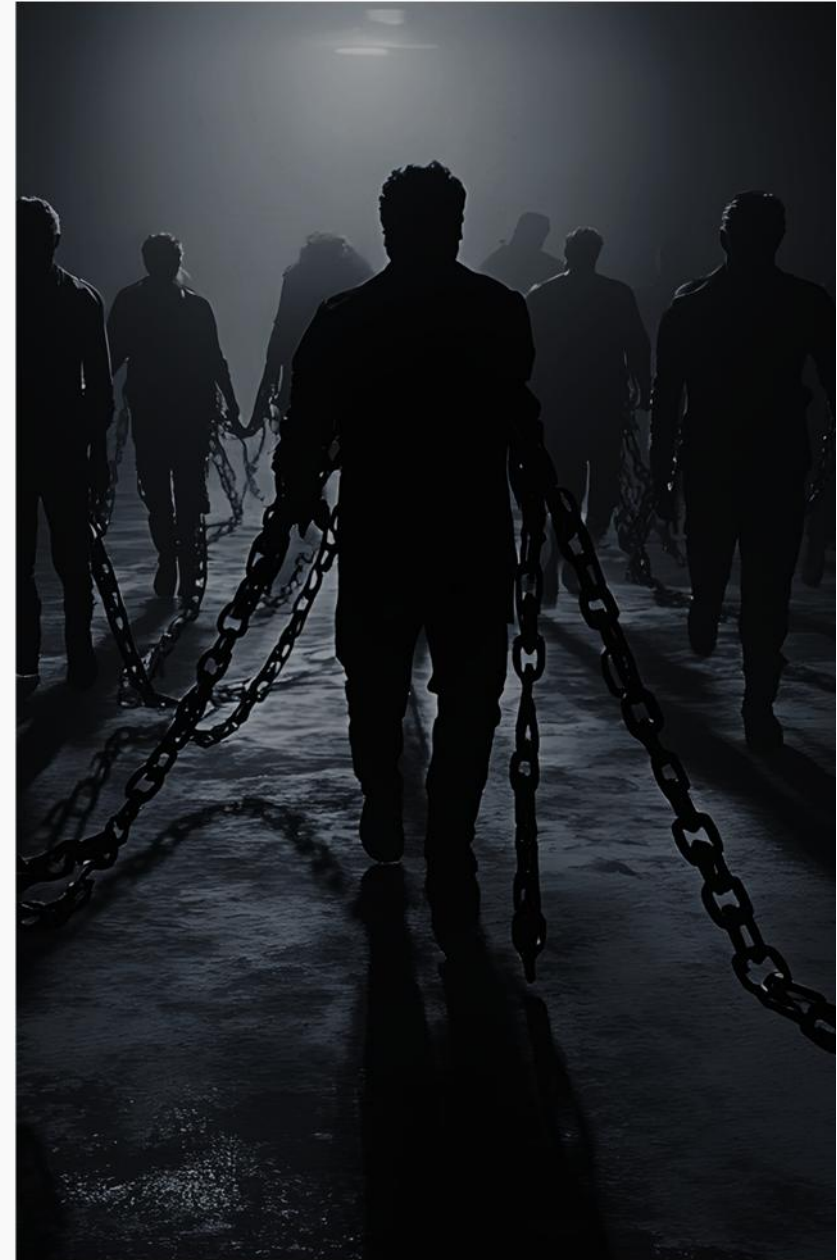
またイエスは、自分の領分を守らずに自分のいるべき所を捨てた御使いたち*を、大いなる日のさばき*のために、永遠の鎖につないで暗闇の下に*閉じ込められました。

*墮天使、悪霊

*大艱難時代のメシアによる裁き

➡最終的には、白い御座の裁き

*シェオール(陰府)



裁き

ソドムとゴモラ ユダ1:7

その御使いたちと同じように、ソドムやゴモラ、および周辺の町々も、淫行にふけて不自然な肉欲を追い求めた*ため、永遠の火の刑罰を受けて見せしめにされています*。

*最後は、警告に来た御使いを犯そうと。

*豊かな低地で町々も栄えていたが、今は死海と荒れ果てた地が広がるだけ。

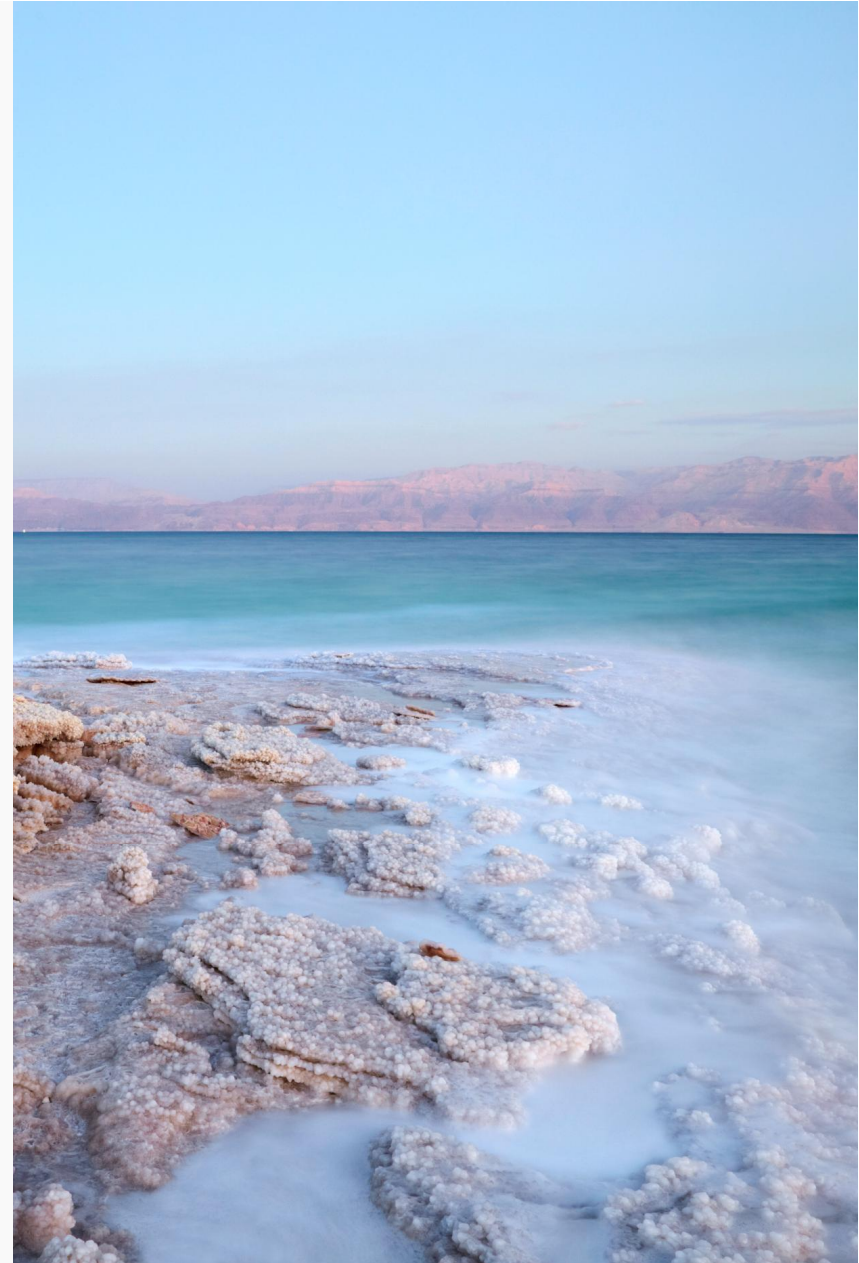


裁き にも関わらず ユダ1:8

それにもかかわらず*、この人たちは同じように夢想到にふけて、肉体を汚し、権威を認めず、栄光ある者たち*をののしっています。

*主の裁きをよく知っているにも関わらず
(ユダヤ人なら当然よく知っている)

*文脈からだと、御使いや悪魔、悪霊?!



挨拶 ミカエルと悪魔 ユダ1:9

御使いのかしらミカエルは、モーセのからだについて悪魔と論じて言い争った*とき、ののしってさばきを宣言することはあえてせず*、むしろ「主がおまえをとがめてくださるように」と言いました。

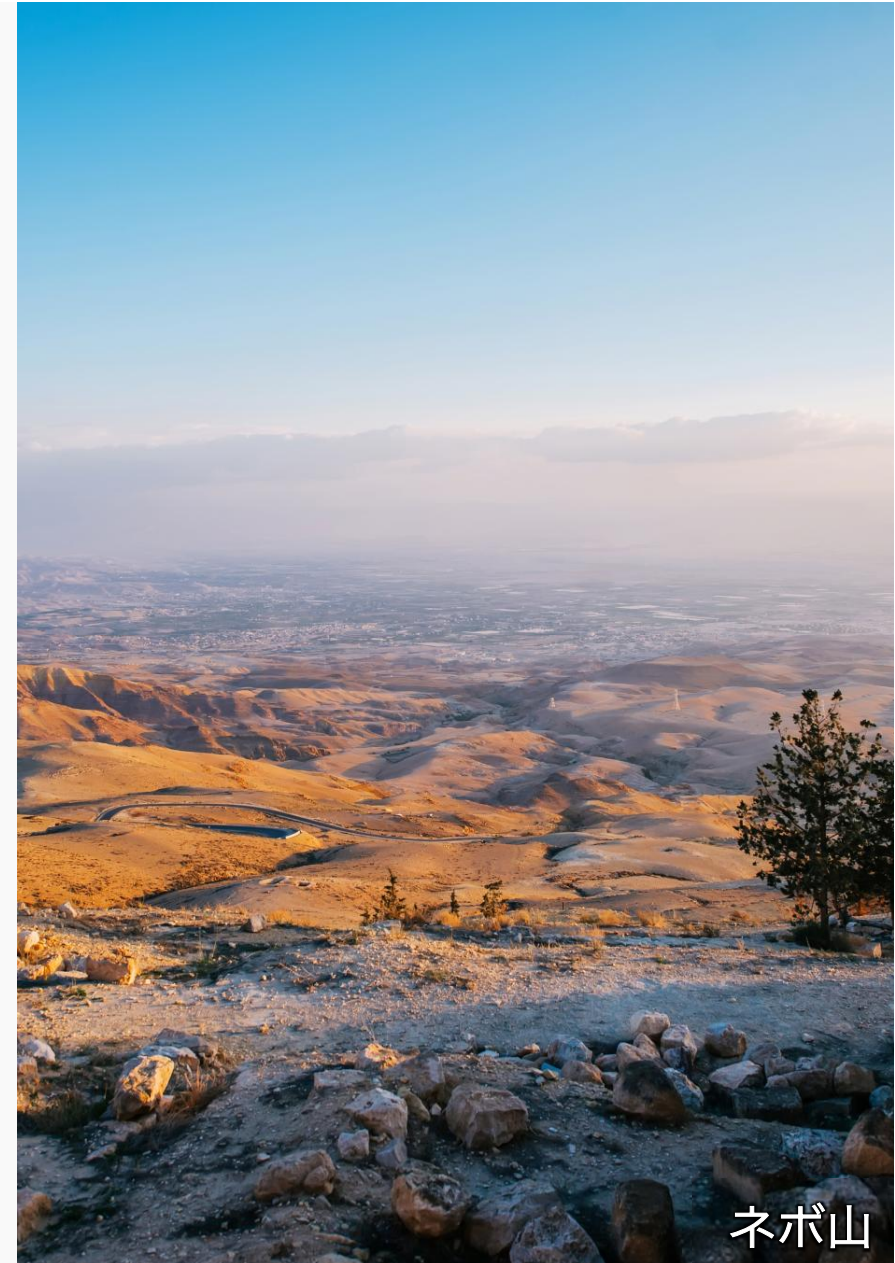
＊ユダヤ黙示文書「モーセの偉訓」

➡この記事は、聖霊が内容を保証

＊元々の地位は、大天使の悪魔の方が上。

➡悪霊追い出しは聖書的？

■天使や悪霊を侮ってはならない。



ネボ山

裁き 動物のように ユダ1:10

しかし、この人たちは自分が知りもしないことを悪く言い*、わきまえのない動物のように、本能で知るような事柄によって*滅びるのです。

*霊的には強大な悪魔を侮るようなこと。

*猛獣を侮って、あっさり殺されるように。

■ 神はもちろん、天使や悪魔を侮ることも厳に慎むべき。滅びかねない!!



裁き 放縦者の末路 ユダ1:11

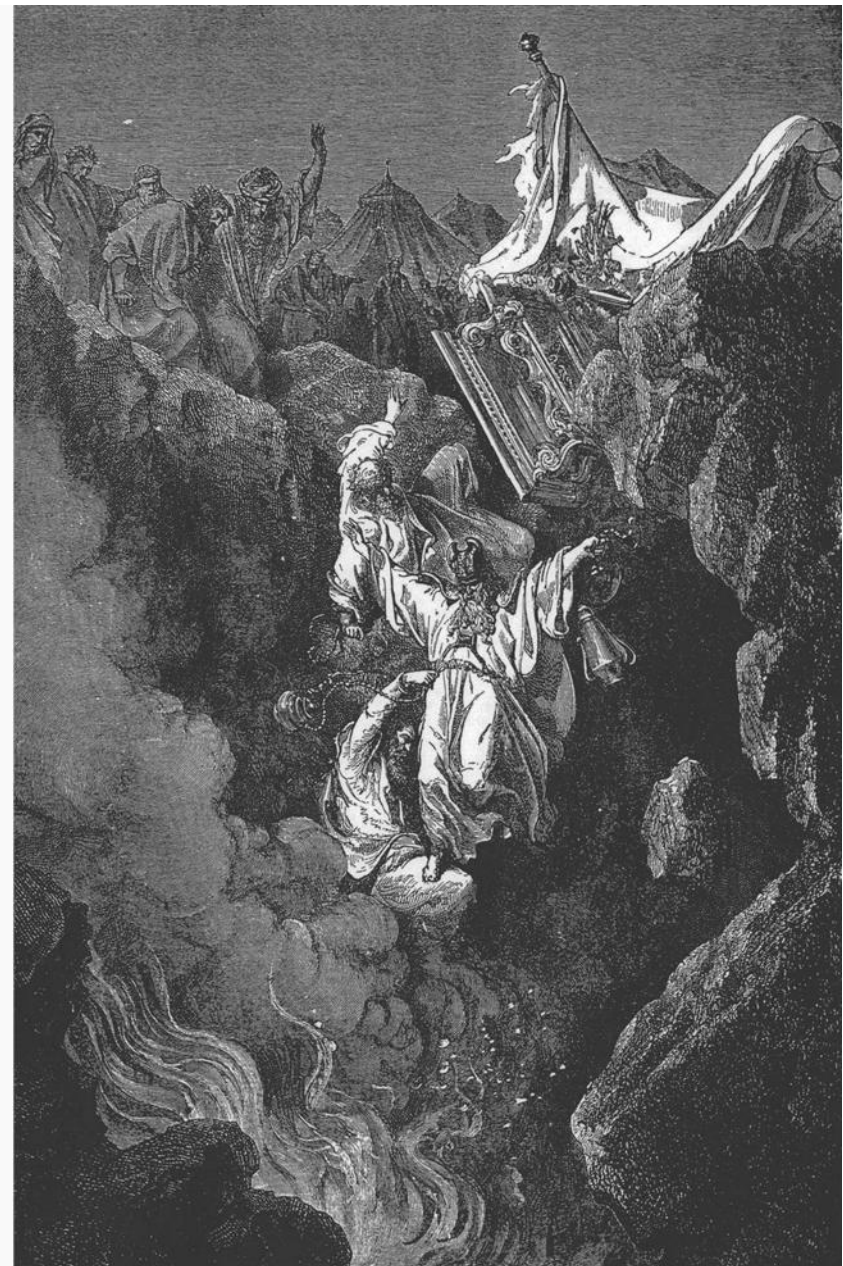
わざわざいだ。彼らはカイン*の道を行き、利益のためにバラム*の迷いに陥り、コラ*のように背いて滅びます。

*カインは最初の殺人者(創4章)

*イスラエルを呪った呪術師(民22章他)

*生きたまま陰府に落とされた(民16:32)

■放縦者には最悪の結末が待っている。



裁き

愛餐のしみ ユダ1:12

この人たちは、あなたがたの愛餐のしみ*
です。恐れる心もなく一緒に食事をしますが、
自分を養っているだけです。彼らは、
風に吹き流される雨無し雲、枯れに枯れて
根こそぎにされた、実りなき秋の木、自分
の恥を泡立たせる海の荒波、真っ暗な闇が
永遠に用意されている、さまよえる星です。

*スピラス…このみ。暗礁。

■何の役にも立たず、邪魔するだけのもの。



裁き

エノクの預言 ユダ1:14～15

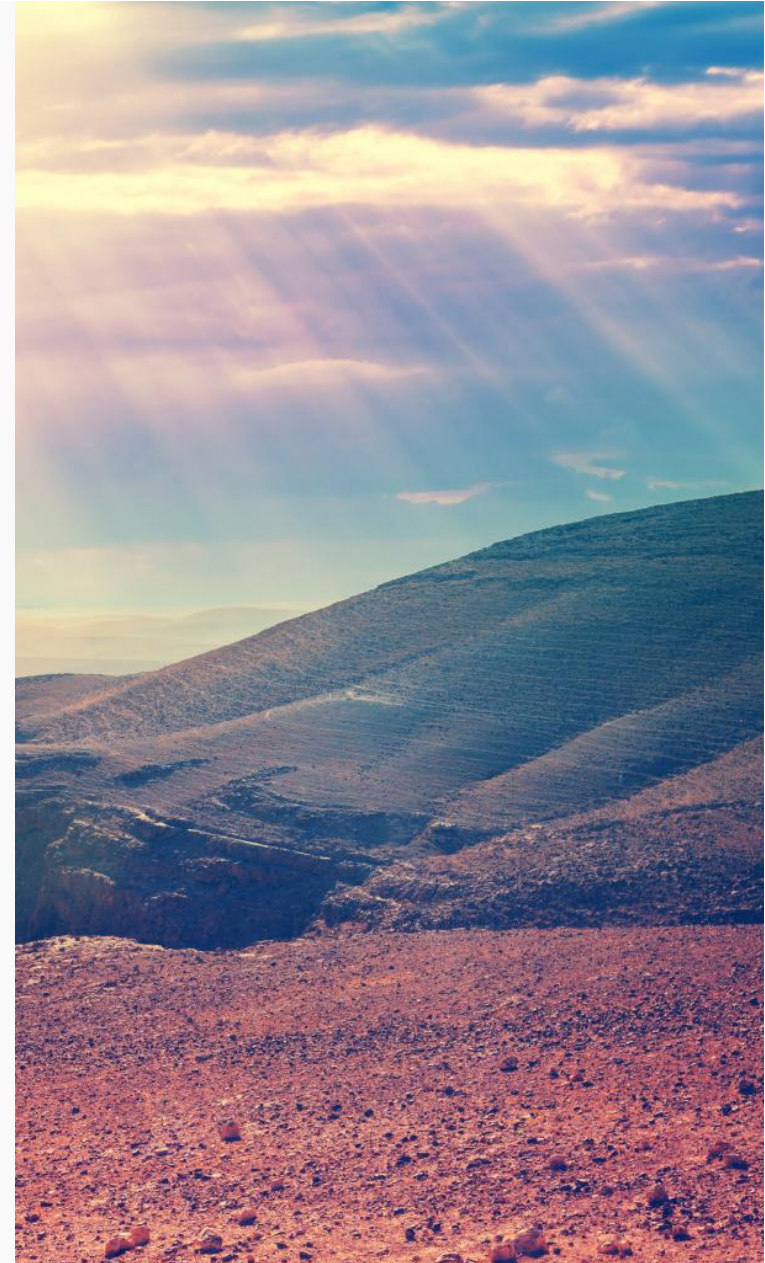
アダムから七代目のエノクも、**彼ら**についてこう預言しました*。「見よ、主は何万もの聖徒を引き連れて来られる。

すべての者にさばきを行い、**不敬虔に生きる者たちの**すべての不敬虔な行いと、**不敬虔な罪人たちが**主に逆らって語ったすべての暴言について、皆を罪に定めるためである。」

*エノク書(旧約の偽典)。この箇所は保証。

…アダムから7代目。

生きたまま天に挙げられた。



裁き

放縦者の特徴 ユダ1:16

彼らは、**ぶつぶつ不満を並べる***者たちで、**自らの欲望のままに生きています。その口は大げさなことを語り、利益のために人にへつらいます。**

***荒野で民は、つぶいやいた。**

■ 利己的で、自己中心。罪の極み。

■ 何より恐ろしいのは、彼らを待つ裁き。





Ⅱ. 兄弟姉妹への奨励

ユダの手紙 17～25節

奨励

終わりの時 ユダ1:17～18

愛する者たち。あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの使徒たちが前もって語ったことばを思い起こしなさい。

彼らはあなたがたにこう言いました。

「終わりの時には、嘲る者たちが現れて、自分の不敬虔な欲望のままにふるまう。」

「テモテ3:2～4 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。…」



奨励

最も聖なる信仰 ユダ1:19～20

この人たちは、分裂を引き起こす、生まれつきのままの人間で、御霊を持っていません*。

しかし、愛する者たち。あなたがたは自分たちの最も聖なる信仰*の上に、自分自身を築き上げなさい。聖霊によって祈りなさい。

*放縦者は、救われていない。

*キリストの福音を信じる信仰

■地上の教会は、放縦者にかき回される。

問われるのは、自分自身の信仰を保つこと。

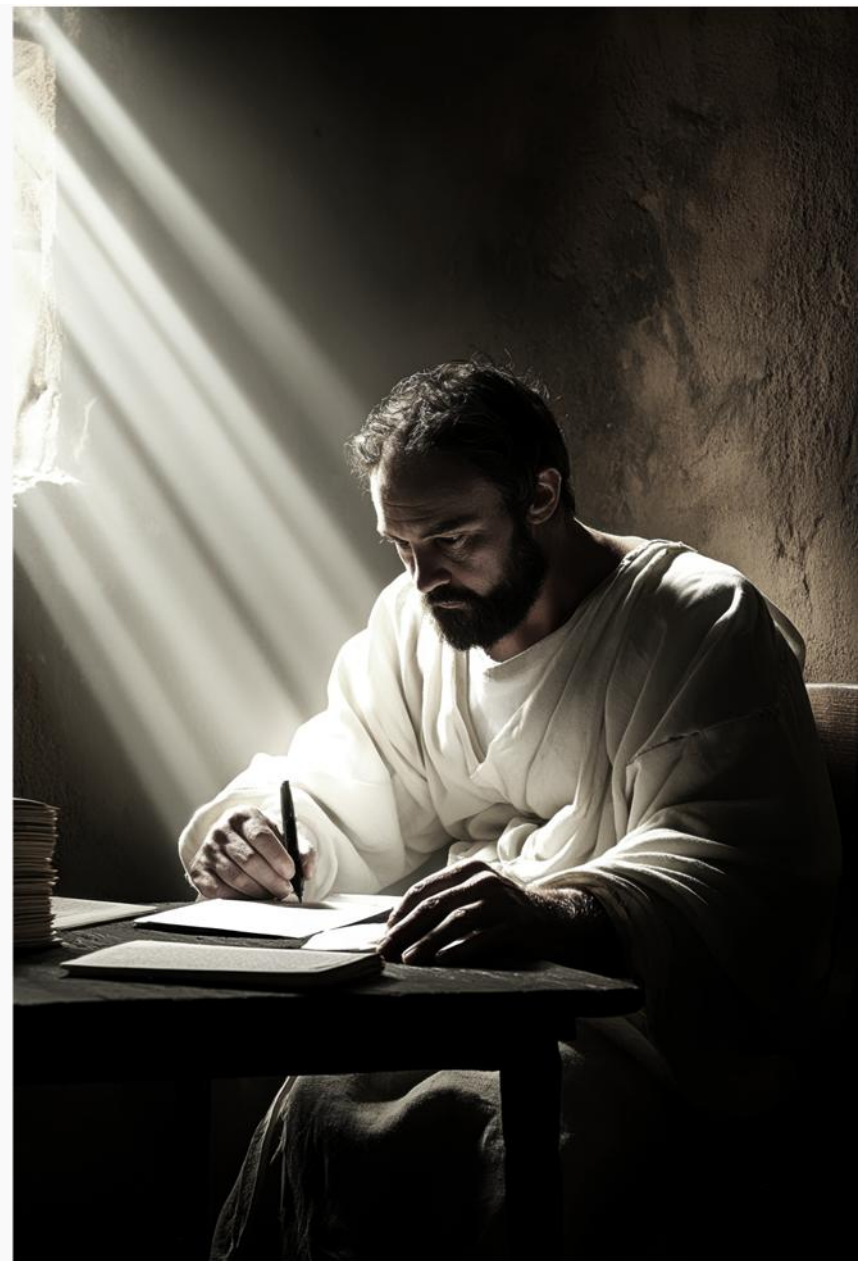


奨励 神の愛のうちに ユダ1:21～22

神の愛のうちに自分自身を保ち、永遠のいのちに導く、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい*。

「私たちが御父の命令にしたがって歩むこと、それが愛です。あなたがたが初めから聞いているように、愛のうちに歩むこと、それが命令です。 Ⅱヨハ1:6」

＊世の終わりに至るまでの主の約束を理解することが必須。



奨励 人々への態度 ユダ1:22～23

ある人々が疑いを抱くなら、その人たちを**あわれみなさい**。

ほかの人たちは、火の中からつかみ出して**救いなさい**。また、ほかの人たちは、肉によって汚された下着さえ忌み嫌い、**神を恐れつつあわれみなさい**。

- 相手の状況をよく見極めよう。
- 放縦者に対しては、主の定める一線を守り、主への恐れをもって祈ろう。



奨励

祈り ユダ1:24～25

あなたがたを、つまづかないように守ることができ、傷のない者として、大きな喜びとともに栄光の御前に立たせることができる方、私たちの救い主である唯一の神に、私たちの主イエス・キリストを通して、栄光、威厳、支配、権威が、永遠の昔も今も、世々限りなくありますように。アーメン。

■ 私たちの救いを完遂される栄光の王、主イエス・キリストを讃える祈り。

A photograph of a goat with curved horns standing on the edge of a rugged, reddish-brown rock formation. The background shows a vast, hazy landscape under a warm, orange and purple sunset sky.

**栄光の主イエスを
日々讃える祈り**



IV. まとめと適用

恵みが放縦に変わるとき

ネゲブ

放縦主義者の特徴

不敬虔。恵みを放縦に変える。
唯一の支配者であり主であるキリストを否定。
夢想にふける。肉体を汚す。権威を認めない。
栄光ある者たちをののしる。知りもしないことを悪く言う。
わきまえのない動物のよう。
恐れる心もなく信仰者と一緒に食事をする、愛餐のしみ。
ぶつぶつ不満をならべる。欲望のままに生きる。
大げさに語る。利益のために人にへつらう。
分裂を引き起こす、生まれつきのままの人間。聖霊の内住がない。

利己的 欲望のまま 反権威

放縦主義者の罪の根

①「神への恐れがない」

➡権威を侮るのは、その現れ

②神を神と認めない

➡自分が中心　自分が神　＝究極の偶像礼拝

③結果、権威に反発し、履き違えた自由を強調

➡神からの自由を求める者は、悪魔の奴隷のまま。

神への恐れがない　ということの恐ろしさ

ユダヤ人の放縦主義者の背景

■ ペルシアをアレクサンダー大王が滅ぼし、イスラエルも支配。

➡ 人間中心のギリシア文化が流入。強力な同化政策も。

■ ギリシャ文化に染まるユダヤ人も増加 ➡ のちのサドカイ派
ユダヤ的伝統に立つ保守派 ➡ のちのパリサイ派

■ 使徒の時代、ディアスポラ（離散のユダヤ人）には、
熱心な巡礼者の一方、ギリシア文化に浸った者たちも多くいた。

無意識に染みこんでいた、人間中心の価値観が!!

教会を蝕む 世の価値観

■福音派の中でも見られる、権威の否定、自由の強調。

➡従来は、リベラルの最左翼で見られたもの。類似に驚愕。

例) LGBTQ、牧師の呼称、好き勝手にしゃべる聖研…

■語られない裁き、突きつけられない人の罪

➡弱さの強調、受容

例)「ありのままのあなたでいい」

放縦が、教会に浸透し、蝕んでいる

放縦がもたらす裁き

- ❶ 荒野で絶えた背教のイスラエル
- ❷ 裁きの日まで陰府の底に閉じ込められた堕天使(悪霊)
- ❸ 永遠の日の刑罰を受けた、ソドム、ゴモラ
- ❹ わきまえのない動物のように、自業自得で愚かに滅びる
- ❺ 真の愛餐にあずかれない。愛餐のしみ。自分を養うだけ。
- ❻ 再臨の主イエスによって、永遠の滅びに落とされる

放縦に陥った者を待つのは、主による永遠の滅び

★ 恵みが放縦に変わるとき ★

■ 神への恐れが失われ、権威がないがしろにされるとき、真理がゆがめられ、履き違えられた自由が蔓延。

■ 分かりやすさの罠。罪人に受け入れやすく、曲げてないか？ 真実はむしろ、にわかには受け入れがたいところにある。

■ 真実の自由の道は、主イエスの轡を負い、十字架を負うこと。えり好みなく、満遍なく聖書を学ぼう。主の問いに向き直ろう。

義と愛の神の 永遠の約束に基づく恵みに、堅く立とう

てん　とう
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし　かみ　こ　しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし　つみ　あがな　じゅうじか　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　ふっかつ　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし　しゅ　くびき　お　じぶん　じゅうじか　お　あゆ
私は主イエスの轡を負い、自分の十字架を負って歩みます。

しゅ　おし　したが　しんじつ　あい　みち　あゆ
主の教えに従い、真実の愛の道を歩みます。

じゆう　しゅ　しんり　かた　た　つづ
自由をもたらす、主の真理に堅く立ち続けます。

しゅ　やくそく　もと　ふくいん　めぐ　うち　わたし　つか
主の約束に基づく福音の恵みの内に、私を遣わしてください。

しゅ　な　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」